

都市建築の木質化シンポジウム

ー設計者から見た木の利用に必要なことー

現在、伐採期を迎えた豊富な森林資源の有効活用、地域活性化、脱炭素化の動きから、非木造（中大規模建築物）の木造/木質化が期待されています。

これまで、関西広域木造建築普及促進協議会では、都市木造の一般化に向けて、戸建住宅以外の都市での木造・木質化について、どのような用途に、どのような理由で設計者は木材を活用するのか、また、木造・木質化に取り組みたい設計者に地域の木材の情報はどのように届けられているのか、一年間調査を実施してきました。

そこで、その調査結果を皆様と共有するとともに、木材を活用する施主に一番近い設計者の皆様とともに、都市の木造・木質化の一般化に向けて、必要なことは何か、ひも解いていきます。

8月27日

14時～16時30分頃（受付13時30分～）

オンライン開催（Zoomでの開催を予定。参加方法の詳細は申込時にご連絡いたします）

【プログラム】

| 講演

都市木造・木質化の動向とこれから

京大大学生存圏研究所 教授 五十田博氏

木材を見せながら都市に安全な木造建築物をつくる

桜設計集団一級建築士事務所 代表 安井昇氏

| **設計者からの話題提供：設計事例・木質化に取り組む意義等**

クラインダイサムアーキテツ シニアアーキテクト 久山 幸成 氏

大和ハウス工業株式会社 本店 木造住宅事業部 特建木造建築物・木質化担当 河野 友弘 氏

| **調査結果紹介**

| **パネルディスカッション ー都市で当たり前の木を使うためにー**

コーディネーター：(株)地域計画建築研究所（アルパック）役員 畑中 直樹

定員：約50名
（先着順・要申込）
無料

主催：関西広域木造建築普及促進協議会(事務局 一般社団法人大阪府木材連合会)

講演者プロフィール

京都大学生存圏研究所 教授 五十田 博 氏

1965年新潟県生まれ。1990年東京大学大学院工学系研究科修士課程修了、1992年信州大学工学部助手、1997年建設省建築研究所主任研究員、2004年信州大学工学部准教授、2011年教授、2013年京都大学生存圏研究所教授現在に至る。研究分野は、木造住宅の耐震安全性に関する研究、中層大規模木造建築の開発と性能評価、CLTなどの新材料や新たな構造システムの開発と構造性能評価など。(http://www.rish.kyoto-u.ac.jp/lfs/index.html)

桜設計集団一級建築士事務所 代表 安井 昇 氏

京都市生まれ。一級建築士、博士（工学）（早稲田大学）。東京理科大学理工学研究科建築学専攻（修士）修了後、積水ハウス株式会社入社を経て、桜設計集団一級建築士事務所開設。その後、早稲田大学理工学研究科建設学専攻（博士）修了、早稲田大学理工学研究科研究員（長谷見雄二研究室所属）。また、岐阜県立森林文化アカデミー非常勤講師、東京都市大学非常勤講師、NPO 木の建築フォーラム理事、NPO 法人 Team Timberize 副理事長等を歴任。

クラインダイサムアーキテツ シニアアーキテクト 久山 幸成 氏

兵庫県赤穂市生まれ。横浜国立大学工学部建設学科卒業。1996年よりKDaに所属。KDaの手掛けるほぼ全てのプロジェクトに携わっており、代表作には、代官山 T-SITE／蔦屋書店（2011）、GINZA PLACE（2016）、Open House（バンコク、2017）などがある。関東学院大学と桑沢デザイン研究所にて非常勤講師として教鞭をとる。

大和ハウス工業株式会社 本店 木造住宅事業部 特建木造建築物・木質化担当 河野 友弘 氏

1987年当社入社。木造住宅の現場管理、設計に従事後、商品開発部門で主に木造住宅の開発を担当。開発の傍ら木造建築案件の取組、大断面木造建築物やCLT利用案件にも関与。昨年からは、木造建築案件の専属営業に従事。

お問い合わせ・事務局

株式会社地域計画建築研究所（アルパック）大阪事務所 内

担当：中川、霜倉、竹内

E-mai：sus-mana@arpak.co.jp

Tel: 06-6205-3600 Fax: 06-6205-3601 （電話での問い合わせは平日9時30分～18時まで）

お申込みについて

8月25日（火）までに、申込フォーム：<https://forms.gle/bEKyzk4zMeg5FVBGA>からお申込みいただくか、お名前、ご所属、連絡先（e-mail,tel）を記載の上、メール（sus-mana@arpak.co.jp宛て）でお申込みください。

※接続台数に上限があるため、接続されるデバイス1基ごとにお申込みいただきますよう、お願いいたします。